

令和2年4月14日

保護者各位

海城中学高等学校
校長 柴田 澄雄
ICT教育室長 中田 大成

インターネットを介した遠隔学習指導について

緊急事態宣言発令後も感染者の数は増える一方で、保護者の皆様には、心落ち着かない日々をお過ごしのことと存じます。平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、新年度が始まりましたが、春休みに引き続き5月の連休明けまでは、生徒たちの登校は叶わない状況が続きます。

そこで、本日から是在宅の生徒たちに向けて、「インターネットを介した遠隔学習指導」を開始します。春休み中も学校HPに「学年連絡用ページ」を設けて、学年からのメッセージや教材を配信し、生徒たちの自宅での学習を支援して参りましたが、サーバーの容量・通信速度の限界が有り、限られた資料の配信しか出来ませんでした。

今日からは本校が以前から導入している Microsoft Office365 の OneDrive 上に「学年連絡用ページ」をすべて移し替え、Office365 の高い性能を活かした遠隔指導を始めて参ります。

ただし、生徒、教員の双方に ICT リテラシーが要求されますので、下記のような段階（第1～第3）を順に踏みながら新しい学びの形を探って行きたいと思えます。

第1段階：「一方向資料配信型」をメインにした遠隔学習指導

*春休み同様、資料（教材）を配信してそれに取り組みせる形の遠隔指導です。

*ただし、配信される資料にはこれまでのテキストデータだけでなく、音声データや動画も含まれます。

*ほぼ一週間はこの形式で行い、「学年連絡用ページ」へのアクセスも個人認証なしで行わせます。

*第1段階でも、既に Classi・ロイロノート（年度更新が完了し、使用できる状態です）を持たせている高校生に対しては、担当教員が必要と認めれば、その双方向性機能を活用した遠隔授業を行うこともあります。

第2段階：「双方向資料配信・受信型」の遠隔学習指導

* 教員側が生徒からのテキストベースの質問を受けたり、レポートを受け取ったりすることが出来る受信機能も加えた指導になっていきます。

* 第2段階からは従来通り学年連絡用ページにアクセスした後の作業の途中で、Office365のID・パスワードを用いた個人認証を行わせたりもします。

※まだ、ID・パスワードの用意が出来ていない中学1年生にはこうした手続きはさせません。

第3段階：「双方向ライブ（オンライン）型」授業も適宜織り交ぜた遠隔学習指導

* いわゆるオンライン授業やライブ形式の質疑応答も必要に応じて実施します。

* 生徒たちの技術習得の状況を確認しながら、Office365・TeamsのWeb会議機能を用いて行います。

何分教員にとっても生徒にとっても初めての試みですので、当分はOffice365の様々な機能やそれらを用いた多用な授業方式と、教科特性や教授内容との親和性を探りながら指導を進めて行くことになると思います。途中うまくいかなくなることも出て来るかと思いますが、どうか保護者の皆さまには温かい目で見守っていただきたくお願い申し上げます。

更に今後の見通しですが、万が一、5月以降も休校状態が続くようであれば、現在文部科学省もオンライン授業を正規の授業として認めるべくガイドラインの策定を進めているとのことですので、それらを参照しつつ、その時点からは「単位認定」・「出席数」のことも視野に入れながら、そこまでの試行錯誤の結果を踏まえて、組織的な授業編成に切り替えることを予定しています。

以上、保護者の皆様には宜しくご理解賜り、御子息の学習環境につき、お力添えいただけますようお願い申し上げます。

【最後に】

本日より「学年連絡用ページ」に「お問い合わせフォーム」を設置しました。お問い合わせ先として、「各学年スタッフ」と「事務室、その他」の二つをご用意しましたので、適宜ご選択の上、御質問・御意見・御連絡等をお寄せ下さい。

この度の取り組みに対する建設的な御意見（正のフィードバック）もお寄せいただければ幸いです。

以上